

大熊町ゼロカーボン補助金 補助対象経費内訳書（ZEH）記載要領

1 目的と提出時期

ZEH の達成に直接必要な経費を、見積書・仕様書等の根拠資料に基づいて整理し、補助対象経費及び補助金額を確認するために使用します。交付申請時（様式第 3 号・第 6 条関係）と実績報告時（様式第 14 号・第 12 条関係）の双方で補助対象経費内訳書（ZEH）を提出します。

【提出時期と主な根拠資料】

提出時期	記載する金額	主な根拠資料
交付申請時（様式第 3 号・第 6 条関係）	交付申請時点の見積額	見積書、仕様書、カタログ、設計図書等
実績報告時（様式第 14 号・第 12 条関係）	施工後に確定した実績額	契約書、請求書、領収書、納品書、完成図書等

！住宅施工に係る費用の総額と、そのうち補助対象経費の内訳の両方を確認できる書類を提出してください。交付申請時は見積書及び見積内訳書等を、実績報告時は請求書、請求内訳書及び領収書等を提出してください。各内容を確認できる書類が分かれている場合は、それぞれ提出してください。

2 作成前に確認すること

- 本様式（様式第 3 号・第 6 条関係及び様式第 14 号・第 12 条関係）は、申請者又は代理申請者が、施工事業者等の見積書・仕様書その他の資料を基に作成します。
- 本様式に記載する金額は消費税抜きで記載してください。
- 本様式に記載する対象経費は ZEH 性能の達成に必要な部分のみとし、一般建築工事、内装、外構、家具・家電等は含めません。
- 根拠資料は項目番号が対応するよう整理し、町から求められた場合に速やかに提出できる状態で保存してください。

！補助対象経費の合計が 500 万円未満の場合は、補助対象経費の全額を記載します。
！補助対象経費の合計が 500 万円以上の場合は、根拠資料から確認できる対象経費を記載し、記載した経費の合計額が 500 万円以上であることを確認できる内容としてください。

3 各欄の記載方法

様式の各欄には、それぞれ次の点に留意して記載してください。

【様式記入欄と記入内容・留意点】

様式記入欄	記入内容・留意点
補助対象経費（税抜）	「3 ZEH を建設するのに要する設計費、設備費及び工事費」に記載した税抜金額の合計を記載します。補助対象経費以外の一般建築工事費等は含めません。
補助対象経費（税込）	上欄の補助対象経費（税抜）に消費税及び地方消費税を加えた金額を記載します。見積書の税込額と整合させてください。
千円未満切り捨て	補助対象経費（税抜）の千円未満を切り捨てた金額を記載します。
補助金額	「千円未満切り捨て」後の補助対象経費と 500 万円のいずれか低い額を記載します。
住宅名称	見積書、契約書その他の申請書類で使用している住宅名又は工事名を記載します。名称を設けていない場合は、申請者名等を用いて対象住宅を特定できる名称とします。
建築場所	補助対象住宅の所在地を、住居表示又は地番で記載します。他の申請書類と表記を一致させてください。
契約金額	補助対象経費に限らず、住宅の建築に係る契約金額の総額を税抜で記載します。変更契約がある場合は、申請時点の最新の契約金額とします。
BELS 申請費用	BELS 評価・申請に直接要する費用を税抜で記載します。見積書上で設計費等と一括計上されている場合は、BELS 申請費用に相当する額を区分してください。
太陽光パネル	メーカー名、型式・仕様等、パネルの枚数（枚）、設備容量（kW）を記載し、太陽光パネル等の設備費及び設置・配線・接続等の工事費を、それぞれ税抜で記載します。
蓄電池（定置式リチウムイオン電池）	メーカー名、型式・仕様等、蓄電容量（kWh）を記載し、蓄電池本体等の設備費及び設置・接続等の工事費を、それぞれ税抜で記載します。
高効率給湯器（エコキュート）	メーカー名、型式・仕様等、数量を記載し、機器本体等の設備費及び設置・配管・接続等の工事費を、それぞれ税抜で記載します。
エネルギー管理システム（HEMS）	メーカー名、型式・仕様等、数量を記載し、計測・表示・制御機器等の設備費及び設置・設定等の工事費を、それぞれ税抜で記載します。

様式記入欄	記入内容・留意点
換気設備	メーカー名、型式・仕様等、数量を記載し、ZEH 計算に用いる換気設備の設備費及び設置・ダクト接続等の工事費を、それぞれ税抜で記載します。
空調設備（エアコン）	メーカー名、型式・仕様等、数量を記載し、ZEH 計算に用いる空調設備の設備費及び設置・配管等の工事費を、それぞれ税抜で記載します。複数台ある場合は、型式別に内訳を確認できるようにしてください。
開口部（窓、ドア等）	メーカー名、型式・仕様等、数量、サイズ（mm×mm）を記載し、窓・ドア等の設備費及び取付工事費を、それぞれ税抜で記載します。仕様やサイズが複数ある場合は、備考欄又は別紙で内訳を示してください。
外壁の断熱	メーカー名、型式・仕様等、施工面積（㎡）を記載し、断熱材等の設備費及び施工費を、それぞれ税抜で記載します。
屋根の断熱	メーカー名、型式・仕様等、施工面積（㎡）を記載し、断熱材等の設備費及び施工費を、それぞれ税抜で記載します。
天井の断熱	メーカー名、型式・仕様等、施工面積（㎡）を記載し、断熱材等の設備費及び施工費を、それぞれ税抜で記載します。
床の断熱	メーカー名、型式・仕様等、施工面積（㎡）を記載し、断熱材等の設備費及び施工費を、それぞれ税抜で記載します。
その他（ZEH 化・エネルギー利用高度化設備）	地中熱利用ヒートポンプ、太陽熱利用設備、充電設備、V2H 等について、設備名称、メーカー名、型式・仕様等、数量を記載し、設備費及び工事費をそれぞれ税抜で記載します。複数設備がある場合は、設備ごとに内訳を示してください。
備考欄	セット商品として複数の設備・工事を一括計上する場合のセット内容、同一欄に収まらない型式別・サイズ別の内訳及び見積書の項目との対応関係その他の補足事項を記載します。必要に応じて別紙を添付し、その旨を記載してください。
作成者氏名	本様式を作成した申請者又は代理申請者の氏名を記載します。記載内容が見積書内訳、仕様書等の根拠資料と一致していることを確認してください。

！「3 ZEH を建設するのに要する設計費、設備費及び工事費」は、原則として、「1. BELS 申請費用」「2. 太陽光パネル」「3. 蓄電池（定置式リチウムイオン電池）」以降の順に、見積書内訳、仕様書等の根拠資料から金額を確認できる項目を記載してください。補助対象経費の総額が 500 万円以上となる場合は、記載した経費の合計額が 500 万円以上となるまで積み上げてください。なお、補助対象経費の総額が 500 万円未満の場合は、補助対象経費の全額を記載してください。

！各設備・工事の金額は、様式右側の「設備費」及び「工事費」の欄に、それぞれ税抜額を記載してください。設備費と工事費を見積書から区分できない場合は、施工業者に内訳の提示を求め、区分した金額を記載してください。

4 設備・工事別の記載範囲

設備・工事別の補助対象経費の主な範囲及び原則として補助対象経費に含めない費用は、次のとおりです。

【設備・工事別の記載範囲】

設備・工事	対象として整理する主な例	原則として含めない例
1. BELS 申請費用	BELS 評価・申請に直接要する費用	一般的な建築確認、登記、融資、仲介等の費用
2. 太陽光パネル	太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、架台、接続箱、配線、設置・電気工事	屋根全面の一般改修、売電専用設備、対象設備と無関係な電気工事
3. 蓄電池（定置式リチウムイオン電池）	蓄電池本体、蓄電池用パワーコンディショナ、分電盤、配線、基礎、設置・接続工事	可搬型蓄電池、ZEH 住宅と直接関係しない設備
4. 高効率給湯器（エコキュート）	機器本体、貯湯タンク、リモコン、配管、設置・接続工事	一般的な給排水工事、対象外の水回り改修
5. エネルギー管理システム（HEMS）	計測装置、表示・制御機器、通信機器、設定・設置工事	汎用 PC、スマートフォン、インターネット利用料
6. 換気設備	ZEH 計算に用いる換気設備本体、ダクト、給排気口、設置工事	ZEH 計算に用いない一般換気扇等
7. 空調設備（エアコン）	ZEH 計算に用いる高効率エアコン等の本体、室外機、配管、設置工事	ZEH 計算に用いない追加空調、延長保証料

設備・工事	対象として整理する主な例	原則として含めない例
8. 開口部 (窓、ドア等)	高断熱窓、サッシ、ガラス、高断熱玄関ドア、取付工事	意匠のみを目的とする建具、カーテン、ブラインド
9. 外壁の断熱	外壁の断熱材、気密処理及び施工費	構造躯体、一般内装仕上げ、ZEH 性能に寄与しない改修
10. 屋根の断熱	屋根の断熱材、気密処理及び施工費	構造躯体、屋根の一般改修、ZEH 性能に寄与しない改修
11. 天井の断熱	天井の断熱材、気密処理及び施工費	天井の一般内装仕上げ、ZEH 性能に寄与しない改修
12. 床の断熱	床の断熱材、気密処理及び施工費	床の一般内装仕上げ、ZEH 性能に寄与しない改修
その他 ZEH 化・エネルギー利用高度化設備	地中熱利用ヒートポンプ、太陽熱利用設備、充電設備、V2H 等の設備費及び工事費	ZEH 化又はエネルギー利用高度化に直接関係しない設備・工事

5 補助金額算定の考え方

補助対象経費は、設計費、設備費及び工事費を合算して算出します。補助金額は、補助対象経費の合計額と 500 万円のいずれか低い額を上限として、要綱及び審査結果を経て決定します。

【補助対象経費の算定例】

ケース	内訳書への記載	補助金額の考え方
対象経費合計 420 万円	420 万円の全額を、根拠資料と対応させて記載	420 万円を上限
対象経費合計 680 万円	確認可能な対象経費を記載し、合計額が 500 万円以上であることを確認できるようにする	500 万円を上限

！見積書の「一式」に対象外経費が含まれる場合は、施工事業者の内訳の提示を求めてください。対象部分を客観的に確認できない金額は、補助対象経費として認められない場合があります。

6 記載例

様式記載例を下記に示します。

【記載例】

様式上記入欄	記入例
1 交付申請額	補助対象経費（税抜）：5,030,000 円 補助対象経費（税込）：5,533,000 円 千円未満切り捨て：5,030,000 円 補助金額：5,000,000 円
2 補助対象住宅の概要	住宅名称：〇〇様邸新築工事 建築場所：福島県双葉郡大熊町大字〇〇字〇〇1 番地 契約金額：28,000,000 円（税抜）
3-1 BELS 申請費用	設計費：150,000 円（税抜）
3-2 太陽光パネル	メーカー名：〇〇株式会社 型式・仕様等：ABC-400（400W） パネルの枚数：15 枚 / 設備容量：6.0kW 設備費：1,350,000 円 / 工事費：780,000 円（いずれも税抜）
3-3 蓄電池（定置式リチウムイオン電池）	メーカー名：〇〇株式会社 型式・仕様等：DEF-98 蓄電容量：9.8kWh 設備費：1,300,000 円 / 工事費：250,000 円（いずれも税抜）
3-4 高効率給湯器（エコキュート）	メーカー名：〇〇株式会社 型式・仕様等：EQ-370（貯湯容量 370L） 数量：1 台 設備費：450,000 円 / 工事費：150,000 円（いずれも税抜）
3-5 エネルギー管理システム（HEMS）	メーカー名：〇〇株式会社 型式・仕様等：HEMS-01 数量：1 台 設備費：120,000 円 / 工事費：50,000 円（いずれも税抜）
3-6 換気設備	メーカー名：〇〇株式会社 型式・仕様等：熱交換型換気設備 VNT-01 数量：1 式 設備費：250,000 円 / 工事費：180,000 円（いずれも税抜）
3-1～3-6 の合計	150,000 円+2,130,000 円+1,550,000 円+600,000 円+170,000 円+430,000 円=5,030,000 円（税抜）
3-7 以降	※上記の記載により補助対象経費が 500 万円以上であることを確認できるため、この記入例では省略しています。補助対象経費の総額が 500 万円未満の場合は、全額を記載してください。

様式上記入欄	記入例
備考欄	例：太陽光発電設備の工事費には、架台設置、配線、接続及び試運転を含む。

！上記は記載方法を示す例です。実際には、見積書・仕様書に記載された名称、型番、数量及び金額を転記してください。

7 申請者名または代理申請者名欄

申請者名または代理申請者名欄には、本様式を作成した申請者又は代理申請者の氏名を記載します。申請者または代理申請者は、記載内容が見積書内訳、仕様書等の根拠資料と一致していること及び補助対象経費に対象外経費が含まれていないことを確認してください。

8 提出前チェックリスト

- ☐ 交付申請書又は実績報告書と、申請者名・建設場所が一致している
- ☐ 使用している様式が提出時期（交付申請／実績報告）と一致している
- ☐ ZEH 達成に必要な設備・工事のみを記載している
- ☐ 型番・仕様、数量・単位、金額が見積書等と一致している
- ☐ 設計費、設備費及び工事費の区分が適切である
- ☐ 対象経費が 500 万円未満の場合、対象経費の全額を記載している
- ☐ 一式計上がある場合、備考欄において一式の内訳を確認できる
- ☐ 根拠資料を保存し、町の求めに応じて提出できる
- ☐ 申請者名または代理申請者名欄に申請者または代理申請者の氏名を記入している

以 上